

## めぐる税金「あなたのもとにも」

小樽市立向陽中学校2年

小林 流月

私達中学生が「税金」という言葉を聞くと「働いたお金から引かれるお金」というイメージが強い人もいます。私も実際そうです。働いたお金から引かれたり、買い物をする消費税がかかったりと、私達からするとマイナスな気はしませんか？そこで、税金が使われているものの中で私達に一番身近なものは何かと考えた時、私は「学校」だと思いました。

例えば、学校で使われている税金には学校の校舎や体育館、教室の机や椅子、教科書、最近だとパソコンなどにも税金が使われているそうです。こうやって見ると私達中学生が普段過<sup>ご</sup>している学校だけでも多くの物に税金が使われていました。教科書などにいたっては一度は落書きをしたことがある人も多いのではないですか？そんな教科書にも自分達の親や大人の人達が働いたお金の一部が「税金」となって私達のために使われていたのです。

次に、私達もよく知っている「消費税」についてです。今の消費税は「八%」と「十%」があります。みなさんは外食をした際、持ち帰りだと「八%」、店での飲食は「十%」スーパ<sup>ー</sup>などでも消費税を払っていますよね。ですが、その後の消費

税の使われ方は知っていますか？

「八%」の消費税では約九割が「年金・医療・介護子育て」などの社会保障に使われていて、残りの一割は身近な地域の暮らしのために活用されているそうです。「十%」の消費税も同様に「年金や医療」などに使われています。ということは、私達が物を買うことで私達がかかる病院などが安くなったり、お年寄りの人達が過<sup>ご</sup>すための費用として使われていたのです。

今までは、マイナスのイメージが強かった税金ですが、税金は身近で私達の生活サポートをし、役に立っていました。税金があることによって私達の生活がより便利で暮らしやすい環境になってとても重要だということに、今回作文を書くことで気づくことができました。そして、巡<sup>めぐ</sup>って帰ってくる「税金」をこれからも「守る」ことが大切なのかもしれないと思いました。